



漫画と英語を活用した、外国人への妙高アピール

新潟まんが事業協同組合

住 所	〒950-0072 新潟県新潟市中央区竜が島1丁目5番2号		
U R L	http://gataman.com/		
設 立	平成28年2月	主 な 業 種	漫画家及びデザイナー
組 合 員 数	18人	出 資 金	540千円

■背景・目的

花角新潟県知事が発した「本県観光の魅力をいかに外国人旅行者に伝えるか」(平成31年2月18日 知事説明要旨から)との言葉を受け、新潟県中小企業団体中央会が進めている組合間連携事業としてスタートした。中央会からの提案を受け、新潟まんが事業協同組合、新潟県旅館ホテル組合青年部、(一社)新潟県通訳翻訳協会が、外国人旅行者に本県の魅力を伝える研究として、漫画と英語による妙高観光リーフレット作成に着手した。

■取組みの手法と内容

今回の取り組みを進めるにあたり、令和元年7月から令和2年2月に渡り、新潟県中小企業団体中央会、新潟まんが事業協同組合、新潟県旅館ホテル組合青年部、(一社)新潟県通訳翻訳協会の4者の代表が、計3回会合を持った。

令和元年7月18日に行われた第一回目の会合では、新潟県中小企業団体中央会から今回の取り組みの趣旨の説明、各組合・団体の紹介、新潟県旅館ホテル組合青年部から妙高地区の外国人観光客の動向の説明があった後、テーマについての討議が行われた。その結果、妙高山にゆかりのある忍者「自来也」をキャラクターとして使用する方向性が打ち出された。各組合・団体の役割については、それぞれの専門分野を活かす運びとなった。また、この取り組みでは、プロジェクトリーダーを設置することをせず、合議制で進めることにした。

第二回目の会合は、令和元年12月10日に行われ、リーフレットのイメージについて話し合われた。最終成果物や今後のスケジュールについて確認することができた。

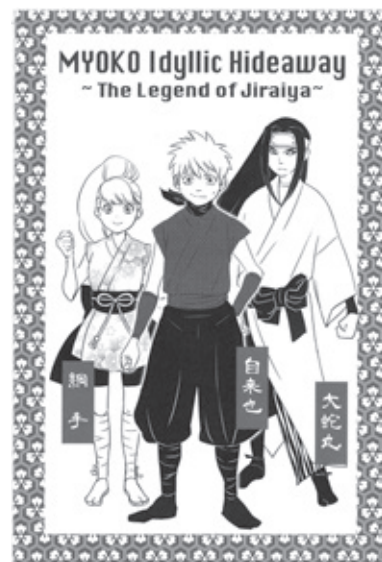
第三回目の会合は、令和2年2月25日に行われた。できあがったサンプルを基に、最終的な修正点等についての話し合いを行い、納品や知事懇談会等のスケジュールが確認された。

令和2年7月28日、花角新潟県知事に対して、新潟県中小企業団体中央会が今回の事業について報告し、取り組みの成果物である「妙高観光リーフレット」の説明を新潟県旅館ホテル組合青年部が行った。

■成果とその要因

成果物であるリーフレットだけではなく、リーフレットを生み出すまでのプロセスで得たものも大きな成果だろう。新たな営業ツール、知識やノウハウの獲得、モチベーションの向上等である。

今回の成功要因は、それぞれの組合・団体がそれぞれの専門性を発揮し、他の組合・団体と尊重し合えたことである。



「妙高観光リーフレット 自来也伝説」の表紙



花角新潟県知事への報告後の記念撮影

